



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 阿部益太郎

第5号 2018年7月21日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <http://www.spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

7月14日(土)、第41回聖ソフィア祭が盛況のうちに終了しました。お越しくださった皆様と売店・喫茶等でご協力いただいた母の会・白樺会の皆様に感謝いたします。

さて、明日から夏季休業です。聖ソフィア祭の準備に励んできた生徒たちにとって、一息つくことができ、また有意義な夏休みとなるようにお祈りしております。休み明け、また元気にお会いしましょう。

Congratulations!!

◎北海道子どもの未来づくり審議会 子ども部会の委員に、中3-S **武部彩美**さんが選出されました!

※道内の高校生・中学生17名のうちの一人として、少子化対策に関する討論を行い、北海道知事への提言を取りまとめます。

梅干し弁当募金

7月4日(水)に行われた梅干し弁当募金では**総額47,002円**を寄付していただきました。AAR JAPAN (難民を助ける会)にお送りし、アフガニスタンの子どもたちのための地雷除去・経済支援に役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。

国際文化ミーティング「なぜ結婚式を教会で?」

7月4日(水)、聖心女子大学史学科教授の印出忠夫先生を講師にお迎えし、国際文化ミーティングが行われました。印出先生は中世ヨーロッパ史がご専門で、教育実習生として本校に来ていた松本先生の指導教授でもいらっしゃいます。

今回のミーティングでは、なぜ結婚式を教会で行うようになったかについて、キリスト教との関係も含めてさまざまな観点からお話いただきました。大学での歴史の学び方に触れつつ、当たり前だと思っていたことが実は当たり前ではなかったということに気づかせていただきました。



小野有五先生講演会「Imagine Peace!」

7月7日(土)父の会総会後に、北海道大学名誉教授の小野有五先生の講演会「Imagine Peace!」が行われました。従姉であるオノ・ヨーコ氏も含めてご家族のこと、キリスト教に関すること、原発に関することなど、さまざまお話いただきました。



8月の行事予定

	行事	お弁当
1(水)		
2(木)	SOFIS(～8/4)	
3(金)		
4(土)		
5(日)		
6(月)	きらめき未来塾(～8/9)	
8/10(金)～8/16(木)学校閉鎖		
19(日)	帰舎日	
20(月)	始業 地理コンテスト(1校時) 通常授業(2～7校時)	要
21(火)	漢字検定①(放課後)	要
22(水)	課題研究ミーティング④	要
23(木)	中1点字ワークショップ(6・7校時)	要
24(金)	中2-S 千歳川清流下り 母の会幹事会④(11:00～)	要
25(土)	姉妹会役員選挙(3校時)	不要
26(日)		
27(月)		要
28(火)		要
29(水)		要
30(木)		要
31(金)		要

- 9/1(土) 高1・高2 保護者懇談会(生徒家庭学習)
 9/1(土) 父の会聖書サークル(16:30～18:00)
 9/2(日) **友愛セール**(生徒登校日) 
 9/3(日) 私立学校展(10:00～17:00、札幌ガーデンパレス)
 9/3(月) 代休



2018年度
札幌聖心女子学院

友愛セール

日時 9月2日(日) 10:00～14:00

同時開催

- ★ミニ学校説明会
- ★個別相談会
- ★ミニコンサート
- ★課題研究展示など

バザー会場

- ♪ 2階体育館
- ♪ 生徒玄関前

お食事

- ♪ 地下1階食堂
- ♪ 寄宿食堂
- ♪ 玄関前喫茶など



Sapporo Sacred Heat School

札幌聖心女子学院中学校・高等学校

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1 TEL 011-611-9231 FAX 011-612-0980

全ての収益は学校の教育環境維持、サポートのために使われます。

お問い合わせにご紹介いただければ幸いです。
 どうぞよろしく願いいたします。

今月の聖句

進んで実行しようと思ったとおりに、
 自分が持っているものでやり遂げることです。
 進んで行う気持ちがあれば、
 持たないものではなく、持っているものに応じて、
 神に受け入れられるのです。

コリントの信徒への手紙Ⅱ 8章 11・12節

先日の聖ソフィア祭(創立者の名前を冠した学校祭)では、生徒たちがそれぞれに活躍する姿を見ることができました。時間も人手も足りていない中、何とかしよう工夫を凝らして作り上げてきた聖ソフィア祭。苦労も多かったことでしょうが、そこには、持てる力を最大限に発揮して主体的に取り組む姿がありました。

ステージ発表・模擬店・展示はもちろん、当日に至るまでの準備や、それらを陰で支えた裏方の仕事も含め、生徒たちそれぞれの努力が結実した聖ソフィア祭でした。生徒たちの姿を見て、自分にできること、自分がやるべきことに真摯に向き合い実践することの大切さを改めて感じさせられました。学校祭を経て大きく成長し、またそれぞれの新たな学びに向かっていく生徒たちに、どうか神様のお恵みがありますように。

[担当：樋口 敏也]